



## 哲学思想 No.4【最終回】

## ロールズの正義論

## —— 公正としての正義を医療格差問題に応用する


 **今日のゴール：** ジョン・ロールズの「正義論」（1971年）における「無知のヴェール」と「格差原理」を正確に理解し、医療資源配分・医療格差・ユニバーサルヘルスカバレッジ（UHC）の正当化根拠として活用できるようにする。


 **新課程対応版（2026年改訂）** | ロールズの正義論・無知のヴェールの概念は新課程「公共」で触れられます。本講座では医療格差・UHCへの応用で論証として完成させます。

 この授業の問い

1. 「無知のヴェール」とは何か。なぜそれが公正な社会のデザインに使えるのか？
2. 「格差原理」は医療格差にどう適用できるか？
3. 功利主義（最大多数の最大幸福）とロールズの正義論は何が違うのか？

 衝撃体験：「無知のヴェール」実験

 **思考実験：** 「あなたはこれから生まれ変わります。でも次に生まれる社会の制度を今から設計できます。ただし——あなたは自分が金持ちになるか貧乏になるか、健康かどうか、どんな能力を持つかを一切知りません。どんな医療制度を選びますか？」

 **ロールズの答え：** 自分の立場を知らない（無知のヴェール下）で合理的に選ぶなら、誰もが最低限の医療を受けられる制度を選ぶはずだ。これが「公正としての正義」の出発点。

## 採点者の視点

## 採点者はここを見ている —— 正義論・ロールズ・公正で合格答案はこういう「構造」をしている

## ① なぜ同じ答えでも評価が違うのか

清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

**「正しい答えを出していても、なぜそう考えたのかが見えない答案は、採点者の印象に残らない。」**

正義論・ロールズ・公正では、*無知のヴェール*による正義原理の根拠が答案の質を大きく左右します。

## ② 正義論・ロールズ・公正で採点者が見ているポイント

「ロールズの無知のヴェールから導かれる格差原理を医療資源配分に適用した答案」が採点者に「倫理的推論をしている」と映る

 この授業の使い方

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。答えを出すだけでなく、根拠を一文添える習慣を意識しながら取り組んでください。

## ③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「答えが出るか」ではなく「思考の構造を説明できるか」です。この授業で習得する「上から俯瞰する」視点は、あらゆる試験形式に通用します。

## 続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所